

「愛知中部水道企業団環境計画」令和4年度分の結果報告



愛知中部水道企業団では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、平成17年3月に策定した「愛知中部水道企業団地球温暖化対策実行計画」により平成26年度まで計画を実行し、温室効果ガス(CO₂)の削減を目標に取り組みを行ってきました。平成27年4月には、令和6年度までの10年間を計画期間として定めた「愛知中部水道企業団環境計画」を策定し、環境負荷の更なる低減を図るために取り組みを行っています。

令和4年度は、下半期の5年間を第2計画期とする中期的な目標達成に向けた「愛知中部水道企業団環境計画実施計画 令和2年度～令和6年度」の3年目となり、その結果を以下のとおり報告します。

1 地球温暖化対策の推進

令和4年度の電力使用量は2,370,808kWhで、前年度に対して29,252kWh(▲1.22%)減少し、平成30年度実績の2,500,580kWhに対して129,772kWhの削減となり、平成30年度実績から50,000kWh削減としている最終目標に対しては大幅な削減となっています。主な削減の要因としては、水道施設を一部廃止したことや水源においてポンプ等を一時的に停止したことなどが挙げられます。




また、再生可能エネルギー利用率向上のため東側車庫棟に設置した太陽光発電設備は令和2年12月から稼働していますが、令和4年度の発電量は11,590kWhで、事務所全体の電力使用量228,703kWhの5.07%となっており、商用電力と併せて利用しています。

施策の項目	最終目標	前年度(R3)	実績(R4)	前年度比	最終目標比	評価
電力使用量の削減 (再生可能エネルギー含む。)	2,500,580kWh 平成30年度実績から 50,000kWh削減	2,400,060kWh	2,370,808kWh	▲29,252kWh (▲1.22%)	▲129,772kWh (▲259.54%)	
再生可能エネルギー 利用率の向上	太陽光発電設備の 設置と活用	11,542kWh	11,590kWh	48kWh	達成	

2 資源循環の促進

令和4年度の建設副産物の再資源化率について、建設発生土は98.83%で、前年度に対して0.20ポイント増加し、最終目標としている平成30年度の有効利用率実績の27.47%に対しては71.36ポイントの増となりました。また、アスファルト・コンクリート塊は100.00%で、前年度に対して0.05ポイント増加し、最終目標としている平成30年度の有効利用率実績の99.09%に対しては0.91ポイントの増となっており、いずれも現時点で目標を達成しています。



令和4年度のごみ排出量は2,140.0kgで、前年度に対して292.5kg減少し、平成30年度実績の4,218.0kgに対しては2,078.0kgの削減となり、最終目標としている1,265.0kgの削減に対して813.0kg多く削減できており、現時点で目標を達成しています。

施策の項目	最終目標		前年度 (R3)	実績 (R4)	前年度比	最終目標比	評価	
建設副産物の有効利用率の向上	平成30年度実績以上の有効利用率	建設副産物 (建設発生土)	27.47%	98.63%	98.83%	0.20ホ ³ イト	71.36ホ ³ イト	
		アスファルト・コンクリート塊	99.09%	99.95%	100.00%	0.05ホ ³ イト	0.91ホ ³ イト	
施策の項目	最終目標		前年度 (R3)	実績 (R4)	前年度比	最終目標比	評価	
ごみ排出量の削減	4,218.0kg (平成30年度実績) から 30% (1,265.0kg) 削減		2,432.5kg	2,140.0kg	▲292.5kg	▲2,078.0kg (▲164.27%)		

3 健全な水循環の構築

令和4年度の有効率は97.69%で、前年度に対して0.46ホ³ イト減少しましたが、最終目標である96.15%に対しては1.54ホ³ イトの増となっており、現時点で目標を達成しています。

また、令和4年度の水源地の間伐実施済み面積は178.99haで、整備面積の累計が11,543.48haとなりましたが、令和4年度の計画値12,900.00haに対しては1,356.52ha下回り、目標に到達することができませんでした。近年は、国庫補助制度の変更などがあり計画通りに整備が進んでいませんが、今後も事業を推進していきます。

施策の項目	最終目標	前年度 (R3)	実績 (R4)	最終目標比	評価
有効率の向上	96.15%以上	98.15% (不感水量を含む)	97.69% (不感水量を含む)	1.54ホ ³ イト	
水源地環境整備事業の促進	12,900.00ha (令和4年度計画値)	11,364.49ha (224.39ha)	11,543.48ha (178.99ha)	▲1,356.52ha	

※水源地環境整備事業の促進評価は、年度の計画値との比較で評価しています。

4 環境に配慮した行動

令和4年度は、クリーンエネルギー車として計上されていた小型貨物自動車（プロパンガスとガソリンのバイフューエル車）から低燃費車である貨物軽自動車に買い替えたため、低燃費自動車の導入率は前年度から引き続き68.0%となりました。今後も買い替え時には低燃費自動車を導入し、最終目標を達成できるように推進していきます。

また、単価契約の対象となっている物品のグリーン購入導入率は97.6%で、前年度に対して1.6ホ³ イト増

加し、すでに最終目標である 70.0% に対して 27.6[°] イトの増となっており、現時点で目標を達成しています。今後も単価契約の対象となっている物品だけでなく、調達物品全般にわたって推進していきます。

施策の項目	最終目標	前年度 (R3)	実績 (R4)	前年度比	最終目標比	評価
低燃費自動車の導入	導入率: 70.0% (令和4年度計画値: 64.0%)	68.0%	68.0%	0.0 [°] イト	▲2.0 [°] イト	↑
グリーン購入の推進	導入率: 70.0%	96.0%	97.6%	1.6 [°] イト	27.6 [°] イト	↑
環境に配慮した行動の促進	環境保全対策の継続実施と職員の意識向上	実施	実施	-	達成	⇒

※低燃費自動車の導入の評価は、計画年度の目標値で評価しています。

5 温室効果ガス排出量の推移

令和4年度の温室効果ガス(CO₂)排出量は1,127,044kgで、前年度に対して82,690kg(7.92%)増加しましたが、本計画策定前年度の平成26年度温室効果ガス(CO₂)排出量の実績1,909,545kgに対して、782,501kg(▲40.98%)の削減となっています。

項目	H26実績 (計画開始前)	前年度 (R3)	実績 (R4)	前年度比	H26実績比	評価
温室効果ガス排出量	1,909,545kg	1,044,354kg	1,127,044kg	82,690kg (7.92%)	▲782,501kg (▲40.98%)	↑

6 今後の取組み

平成27年4月に策定した「愛知中部水道企業団環境計画」における4つの環境基本方針を踏まえた取組みを行い、令和4年度末時点において計画期間は残すところ2年となりましたが、一部を除いたほとんどの項目において最終目標を達成しています。

また、全事業における温室効果ガス排出量についても、本計画前年度の平成26年度と比較して大幅に削減できており、今後も更なる向上を目指して取り組んでいきます。